

## 座間市住居表示審議会 参考資料1

1. 往居表示について
2. 住居表示の実施状況
3. 住居表示の方法
4. 入谷地区の概要

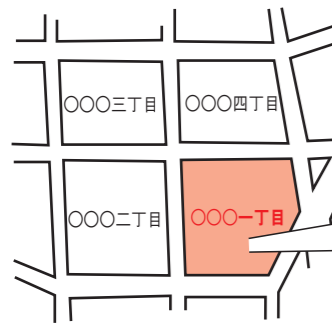
# 住居表示について

★住居表示とは、どなたにとっても分かりやすい住所を設定することです★

## 住居表示のしくみ

新町名

〇〇〇一丁目



↑町の区域をはっきり分  
やすく区切り、〇〇〇×丁目  
にします。

街区符号

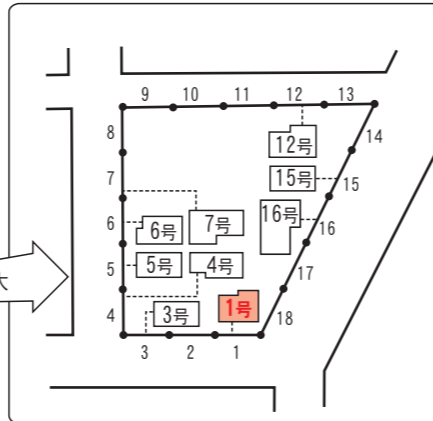
1 番



↑町(〇〇〇×丁目)の中を分  
割してブロックに分け、順  
に街区符号を付けます。

住居番号

1 号



↑街区のまわりに基礎番号を  
設定し、家の出入口位置  
によって住居番号を決めます。

## 住居表示の必要性やメリット・・・

### ●消防車・救急車・パトカーなどの緊急車両の早期到着のため

緊急車両は一分一秒を争います。住居表示を実施した地区であれば、消防署や警察署に場所を伝える場合、通りすがりの方でさえ住居表示板などを見ればピンポイントで目的地を伝えることができ、早期到着につながります。

### ●災害時の救援や介助にも役立ちます

災害時に一人暮らしのお年寄りの住所や、寝たきりで介助の必要な方がどこにお住まいか等、大変わかりやすくなり、迅速に対応できます。

### ●郵便物や宅配便の誤送・遅配が少なくなる

住居表示実施後の住所は、同一のものではなく、一定の範囲ごとに順序良く並んでいます。そのため届け先が特定しやすく、同じ苗字の方の建物が隣接しているような場所でも誤送や遅配を格段に少なくできます。

### ●目的の建物や人物を訪ねるのが容易になる

住居表示を実施した地区であれば、住所は全て順序良く並んでいますので、初めて訪れる方でも番号をたどるなどして容易に目的地に到着できます。これは、招く方にとっても便利なことではないでしょうか。

## 現在の番地による住所

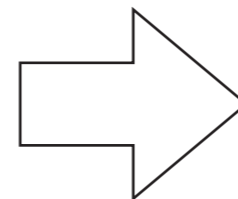
下の図は、住居表示実施前の住所で表記した一画です。下図から住所が「1281番地の55」という建物を見つけるのは大変です。

1丁目(旧)



1281 番 55 という地番  
を利用し、住所として  
います。

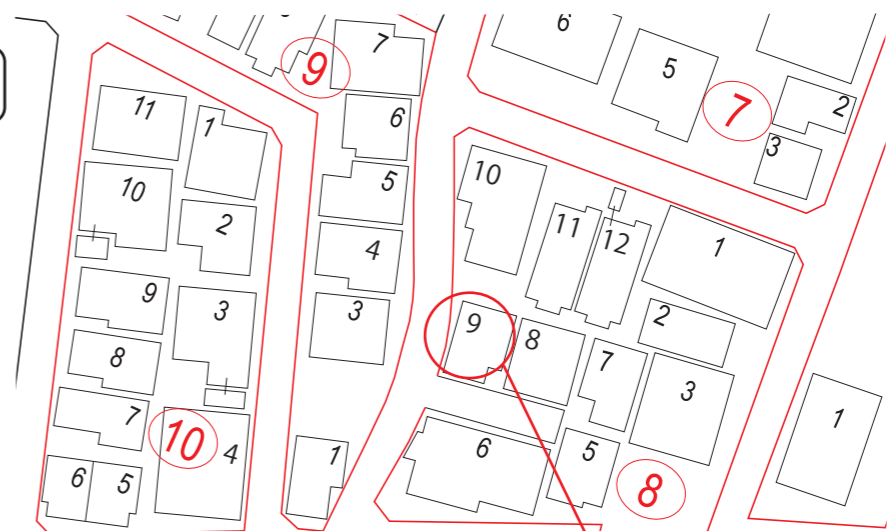
1丁目(新)



住居表示実施により住民の方の  
住所が変わります。  
(土地の地番は変わりません)

## 住居表示を実施すると・・・

住居表示実施後では、連続番号で設定された街区（下図の⑦⑧⑨⑩）を探します。街区の中は時計回りに建物ごとの番号が流れるので大変見つけ易くなっています。



街区を探し当てればあとは簡単  
に見つけられます。  
この場合、1丁目8番9号という  
住所になります。

## 住居表示の実施状況

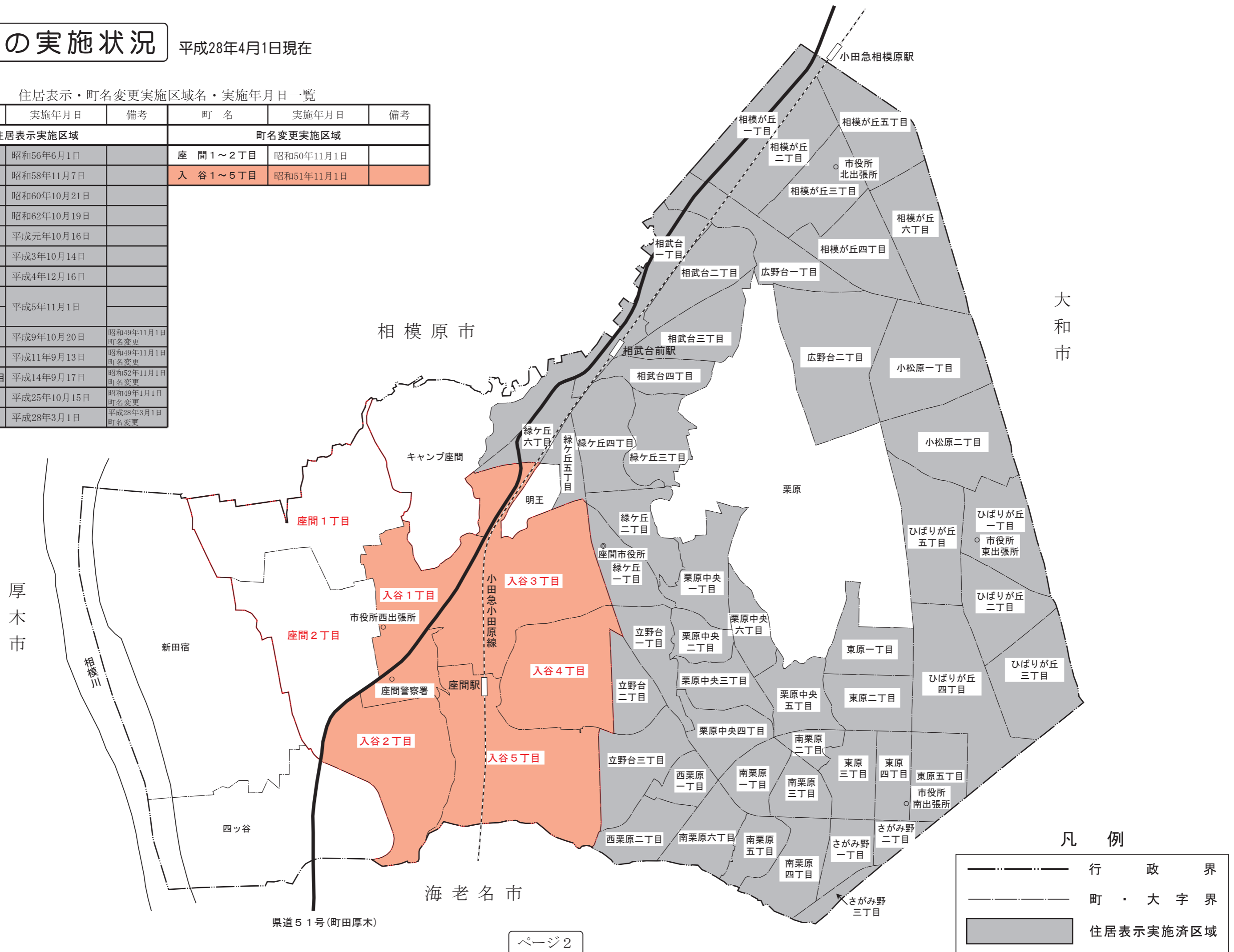
平成28年4月1日現在

住居表示・町名変更実施区域名・実施年月日一覧

町 名	実施年月日	備考	町 名	実施年月日	備考
住居表示実施区域			町名変更実施区域		
相模が丘一～六丁目	昭和56年6月1日		座 間 1 ～ 2 丁目	昭和50年11月1日	
東 原一～五丁目	昭和58年11月7日		入 谷 1 ～ 5 丁目	昭和51年11月1日	
さがみ野一～三丁目	昭和60年10月21日				
緑ヶ丘二～六丁目	昭和62年10月19日				
南栗原一～六丁目	平成元年10月16日				
栗原中央一～六丁目	平成3年10月14日				
緑ヶ丘一丁目	平成4年12月16日				
立野台一～三丁目	平成5年11月1日				
西栗原一～二丁目					
小松原一～二丁目	平成9年10月20日	昭和49年11月1日 町名変更			
広野台一～二丁目	平成11年9月13日	昭和49年11月1日 町名変更			
ひばりが丘一～五丁目	平成14年9月17日	昭和52年11月1日 町名変更			
相武台一～四丁目	平成25年10月15日	昭和49年1月1日 町名変更			
相武台一丁目	平成28年3月1日	平成28年3月1日 町名変更			

相 模





# 住居表示の実施方法

## 1 住居表示の実施方法

住居表示は基本的に住居・建物に順序よく番号を付けていくことで、住所の表示を分かりやすいものにしようという制度です。住居表示の実施方法には次の二つの方法があります。

- ① 街区方式
- ② 道路方式

日本の住居表示の方法は、街区方式で行われています。道路方式は、道路に一定の方式で名称をつけ、その道路に沿って建っている建物に住居番号をつけていく方式ですが、主として欧米諸国で採用されております。日本の道路事情を考慮した場合、また町名と番地によって住所を表すという慣習からすれば、この道路方式を取り入れるのは難しいものがあると思われます。

このため、入谷地区においても「**街区方式**」の方法で住居表示を実施したいと考えます。

## 2 街区方式について

別紙「住居表示について」の左上、「住居表示のしくみ」をご覧ください。

### ※ 参考（住居表示に関する法律）

**第二条** 市街地にある住所若しくは居所又は事務所、事業所その他これらに類する施設の所在する場所（以下「住居」という。）を表示するには、都道府県、郡、市（特別区を含む。以下同じ。）、区（地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の20の区をいう。）及び町村の名称を冠するほか次の各号のいずれかの方法によるものとする。

- (1) 街区方式 市町村内の町又は字の名称並びに当該町又は字の区域を道路、鉄道若しくは軌道の線路その他の恒久的な施設又は河川、水路等によって区画した場合におけるその区画された地域(以下「街区」という。)につけられる符号(以下「街区符号」という。)及び当該街区内にある、建物その他工作物につけられる住居表示のための番号(以下「住居番号」という。)を用いて表示する方法をいう。
- (2) 道路方式 市町村内の道路の名称及び当該道路に接し、又は当該道路に通ずる通路を有する建物その他工作物につけられる住居番号を用いて表示する方法をいう。

# 入谷地区の概要

## 1. 位置

市庁舎の南西方向に位置しています。東側は、緑ヶ丘一丁目、立野台、西栗原二丁目に、南側は、海老名市に、西側は、座間2丁目、四ツ谷に、北側は、座間1丁目、キャンプ座間、明王、緑ヶ丘五丁目、六丁目に接しています。

## 2. 経緯

入谷地区は、昭和51年11月1日に地方自治法260条の規定により、町名変更を行い、現在の町区域が形成されました。当時、この地域は、座間入谷、座間、栗原、四ツ谷、明王、緑ヶ丘など大字が入り組んで混在する地域で、そのため町の区域が不整形であり、飛び地等による地番の混乱が日常生活に多くの支障を与えていました。こうした不便さを解消するため、町の区域を定め、1丁目から5丁目までの区域を画定したものです。

## 3. 住居表示の必要性

町名変更を実施した当時（昭和52年10月現在）の人口は、10,189人でしたが、平成29年4月現在の入谷地区の人口は18,283人、世帯数は8,415世帯となっており、人口は約1.8倍に増加しております。

このような状況下で、入谷地区で住所として利用している地番は、土地の分筆・合筆が繰り返された結果、枝番・欠番が生じ、町名変更により解消された地番の混乱が再び起こり、複雑な状況になっています。

この問題を解消するため、入谷地区でも住居表示実施を考えております。

## 4. 地域の現状

面積・人口・世帯数は以下のとおりです。2丁目、3丁目、5丁目の一部が市街化調整区域となっており、3丁目の大部分は県立座間谷戸山公園となっております。

入谷地区のほぼ中央に小田急線の線路があり、3丁目と5丁目の中を通っております。また、1丁目、3丁目の中を主要地方道県道町田厚木線が通っております。

（平成29年4月1日現在）

町 名	面積（ha）	世帯数	人口（人）
入谷1丁目	38.7	1,416	3,235
入谷2丁目	50.6	388	890
入谷3丁目	70.0	1,237	2,708
入谷4丁目	40.3	2,852	6,051
入谷5丁目	66.8	2,522	5,399
合 計	266.4	8,415	18,283